

令和6年度自己評価報告

運営・管理・社会的責任	
① 保育所の保育理念及び基本方針について、	新年度の全職員保護者対象の重要事項説明にて確認し、年間通して各所に掲示することで、全体への周知を図ることができた。
② 保育の質の向上や改善のための取り組みについて、	園内研修や外部研修・自主研修を全職員について可能な範囲で受講するようにし、受講者の報告により園内研修につなげたり保育内容を検討できた。ICT化による業務改善や保育の捉えなおしも行っているところ。
③ 行事について、	本年度は発表会から保育参観への切り替えなど、子ども第一に考え無理なく楽しめるようにした。また、行事後保護者にアンケートを取るなどして検討改善に努めた。
④ 守秘義務の遵守について、	就業規則・マニュアルを年度初めに読み合わせし、おおむね守られた。
⑤ 子どもの安全、健康に対応できるマニュアル（感染症、給食衛生管理、危機管理、不審者対応、食中毒発生時等）について、	毎月の職員会での項目ごとの確認に加え、問題発生時には配信・掲示・緊急職員会などにより、全職員での周知を図ることができた。 特に衛生管理については都度確認し改善に努めた。
⑥ 事故防止のための具体的な取り組み（遊具の安全点検、環境整備等）について、	点検を定期的に行い、毎月のヒヤリハット報告・検討会をもとに環境整備に努めた。
⑦ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、	定期的に全職員でマニュアル確認し、発見・対応できるよう努めている。子どもの衛生面・栄養状態・精神状態に注意し、家庭の様子をうかがうようにした。
⑧ 育児相談など地域の子育て家庭を対象とする子育て支援について、	入所希望者を含め園開放「らっこくらぶ」にて多くの受け入れ対応ができた。
⑨ 小学校との連携（学校訪問、保育要録の提出等）について、	学校訪問等直接の交流の機会を持てた。職員間の情報伝達は随時行い、幼保小中のネットワーク会議でも情報交換できる関係を保っている。
⑩ 民生・児童委員や自治会等の地域団体と連携について、	地域とは主に評議員との連携が取れているが、園の行事・地域の行事への参加交流等以前に比べ機会が減っているのが課題。園からの毎月のお知らせは行えた。